

海洋鉱物資源開発に向けた資源量評価・生産技術等調査事業委託費

令和3年度概算要求額 93.0億円（89.0億円）

事業の内容

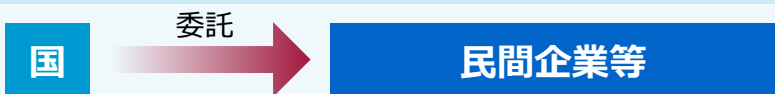
事業目的・概要

- 我が国周辺海域には、次世代自動車や再エネ機器等に不可欠な銅やレアメタルを含む、海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト、マンガン団塊等の海洋鉱物資源が存在しています。鉱物資源の安定供給確保を図るため、資源量の把握や生産技術の開発に向けた基礎的な研究・調査等を行い、海洋鉱物資源の開発を推進します。
- 令和3年度は、海底熱水鉱床について、将来の商業化に向けて資源量の把握を引き続き進めるとともに、海洋鉱物資源開発に特化した生産技術の開発に向け、採鉱・揚鉱システムの確立のための陸上技術試験を実施します。コバルトリッチクラストについても、資源量の把握を進めるとともに、令和2年度の実海域における掘削性能確認試験で抽出された技術課題の解決に向けた取組を行います。また、海洋鉱物資源に共通する生産技術の基礎調査を進めます。
- さらに、海洋鉱物資源のうち公海に有する探査鉱区では、国際海底機構との契約に基づいて資源量の把握等を実施します。

成果目標

- 平成23年度から令和9年度までの事業であり、海洋エネルギー・鉱物資源開発計画（平成31年2月、経済産業省）の工程表に沿って開発を進め、海底熱水鉱床については、資源量調査から選鉱・製錬までの一貫したシステムに係る課題解決に取り組み、令和4年度に総合的な評価・検証を実施します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

<海洋鉱物資源>

海底熱水鉱床



コバルトリッチクラスト



マンガン団塊



レアアース泥



<資源量評価>

- 海洋資源調査船を使用し、資源量調査等を行う。



使用船：
海洋資源調査船
（調査に必要な推進機能や複数の機器を搭載）



調査手法：
ROV（遠隔操作無人探査機）による海底観察、試料採取等

<生産技術>

- 海洋鉱物資源について、生産技術の基礎調査を行う。

